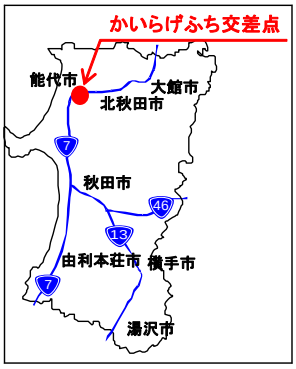
記者発表資料

平成２６年　３月２８日
能代河川国道事務所

一般国道７号　かいらげふち交差点改良の整備効果

「左折レーン設置」で渋滞長と危険行動が大幅減少

能代河川国道事務所では、交通事故の削減を目的に能代市の「かいらげふち交差点」を改良し、平成２５年１２月に完了しました。
この度、短期的な整備効果が把握できましたのでお知らせいたします。





●通勤時の渋滞長が５０m以上減少！　【135m →84m】
（8:00～9:00の計測値）

●沿道施設をショートカットする左折車が約９割減少！
【51台→６台】

※詳細については、別添資料を参照してください。

【事故ゼロプランとは

事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）とは、限られた予算の中で効率的・効果的かつ透明性の高い交通安全対策を実施していくため「事故危険区間」を選定し、事故原因に即した効果の高い対策を実施するものです。

発表記者会：能代市記者クラブ、秋田県内建設専門紙

【問い合わせ先】

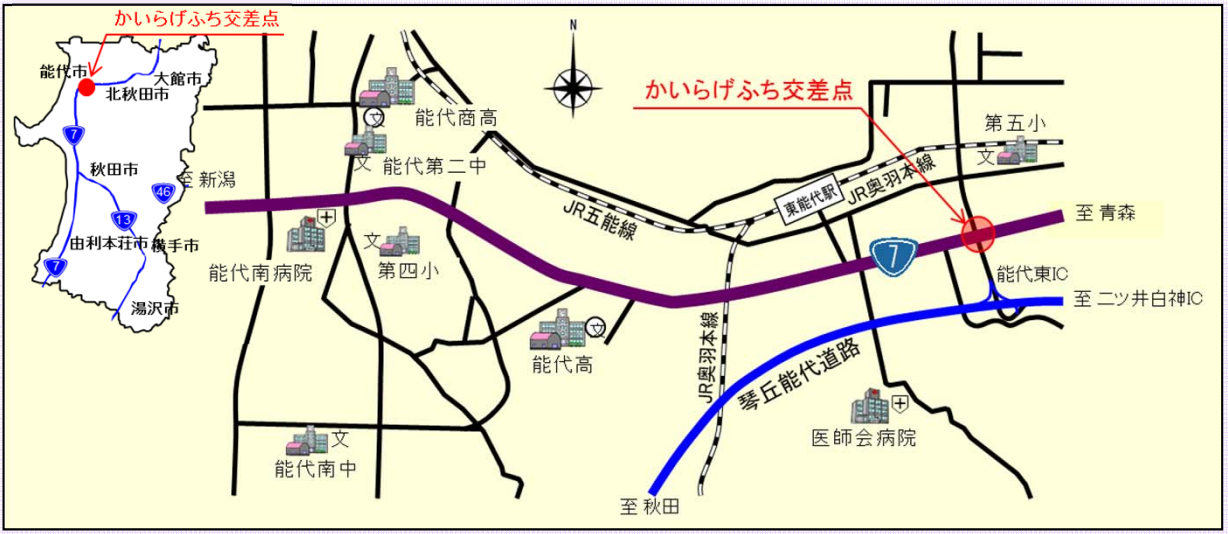
国土交通省　東北地方整備局　能代河川国道事務所
TEL ０１８５－７０－１００１(代表)
道路担当副所長　宮川（みやかわ）　浩幸（ひろゆき）　（内線２０５）
道路管理課長　佐々木（ささき）　博臣（ひろおみ）　（内線４３１）

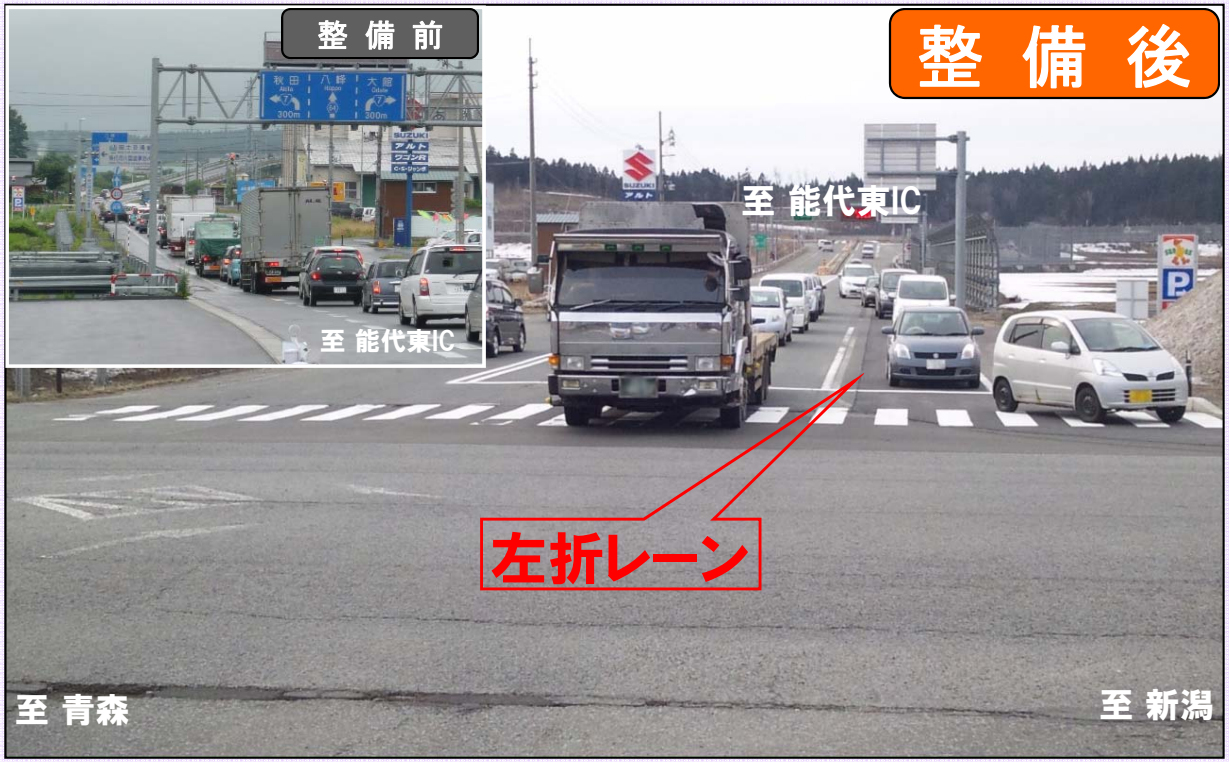
一般国道7号　かいらげふち交差点

左折レーン設置で渋滞緩和

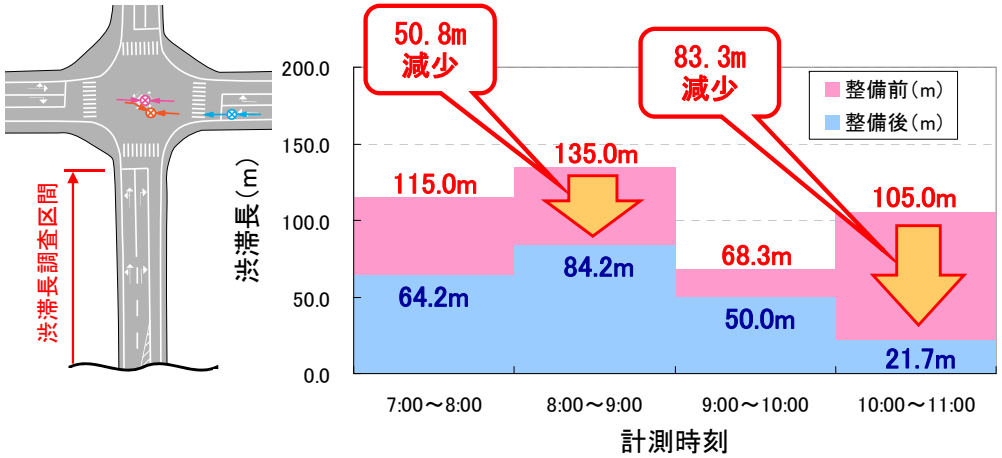
（平成25年12月供用）

①通勤時の渋滞長が50m減少！
②危険行動が９割減少！





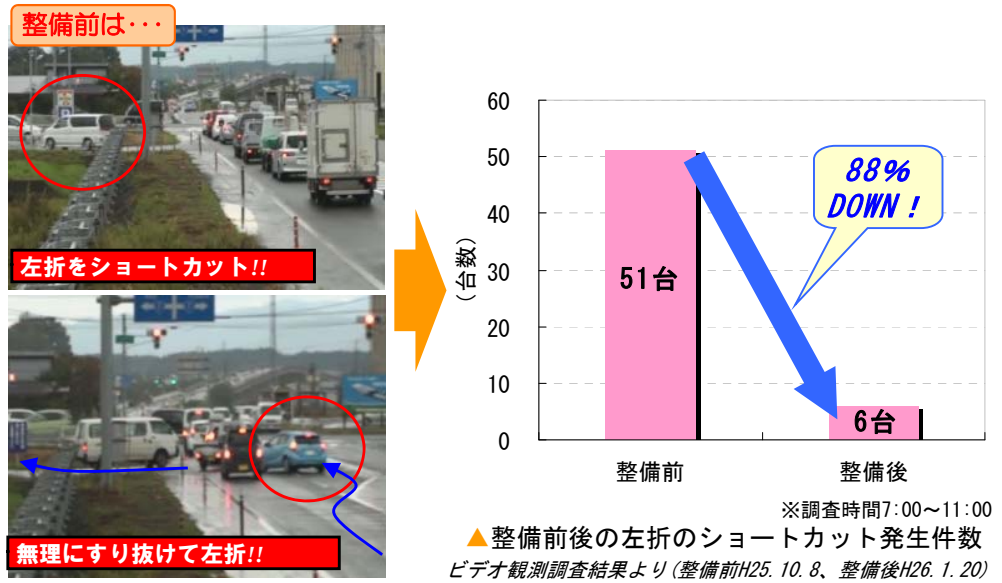
ピーク時の渋滞長が50m以上減少し、渋滞緩和‼



▲対策前後の時間帯別渋滞長の変化

渋滞長調査結果より（整備前H25. 10. 8、整備後H26. 1. 20実施）

沿道施設を抜け道利用する左折車が大幅に減少‼



※調査時間7:00～11:00

▲整備前後の左折のショートカット発生件数

ビデオ観測調査結果より（整備前H25. 10. 8、整備後H26. 1. 20）